

とよ・たち

美肌通信

2月号

Vol.15

Y.M



February

とよたち美肌通信2月号の

表紙は、可愛らしい女の子と2匹の
猫ちゃんが楽しそうにパーティーを

している絵です。フラッグも色々柄で

華やかですね😊

あれ！風船が飛んでっちゃう！猫ちゃんキャッ

して～!!!

絵を描く事と、クラブ活動のバドミントンを

やる事が好きで、計算する事が得意
な女の子が描いてくださいました！

院長はじめスタッフ一同バリエ

感謝いたします!!!

幕末の儒学者である佐藤一斎はその著書、
「^{げんし}言志録^{ろく}」で次の様に述べている。

人は須らく自ら省察すべし。

「天は何の故に我が身を生み出し、
我をして果たして何の用に^{きよう}供せしむる。
我すでに^{てんぶつ}天物なれば、必ず^{てんえき}天役あり。
天役^{きよう}共せず人は、天の^{とが}咎必ず「至らん」
省察して此に到れば、則ち我が身の^{こうせい}向生
すべからざるを知る。

人は真剣に考える必要がある。

「天は何故 自分をこの世に生み出し、
何の用をさせようとしているのか。
自分は既に天の生じたものであるから、
必ず天から命いられた役目がある。
その役目を慎んで果たさなければ、
天から罰を受けるであろう。

150年余を経てなお、現在に通じる思想である。

ある本で読んだことを思い出した。人は皆一個の
天真を宿してこの世に生まれてくるという。

天真とは天がその人だけに与えた真実である。
その天真を遺憾なく発揮し成熟させ、
完成させていくことこそ、天がヒトという生命体
に託した課題だという。またそのことによって
人は、他者を照らす一生を生きることが出
来る。それは生涯をかけて果たしていく道
であるのだという。

私達には、一人の例外もなく両親がいる。
それにより生を受けた。その両親にもそれぞれ
両親がいる。周知の事実だ。更に10世代で
1024人。この先祖の命が1回も途切れること
なく今日に引き継いでいるのが私達一人一人の
命である。この命の連鎖がどこかで途切れて
いたら、私達はここに存在してはいない。
無数の命に支えられて私達はここにある。
まことに目を見張る生命の神秘である。
おろろかに生きてはならないという気持ち
が湧き上がってくる。

院長、拝